

第2回箱崎カップ岩手県小学生ハンドボール大会（平成25年3月20日、花巻市総合体育館）

大西武三先生による小学生レベルアップ講習会報告①

大西武三先生語録

☆子ども達が言った目標に普段の練習で導いてやること。子ども達が毎日がんばりよる姿をみてやらないかん。一生懸命やることにどう仕向けてやるか。☆ゲームは作品。試合は選手がやってきたことを表現する場。試合の準備は前日までで終わっている。試合で監督がワワー叫んでも選手には伝わらないことの方が多い。手助けできることはメンバーチェンジとシステムチェンジだけ。☆減算的指導（6:6のイメージの中での課題を抽出して部分練習に落とし込む）、練習メニュー、やる気の引き出しが大切。☆2004年韓国・デンマークのゲームはハンドボールの教科書である（宮沢賢治の作品は教科書になるが、スポーツには教科書がない）。☆毎日が平坦で、優勝してもその瞬間は嬉しいは嬉しいが、日常の練習をどうしたらよいか的大事なこと。誰でも先輩に見えてくる。☆一隅を照らすこと。



「高校から始めても十分いい選手になれます。私は7人中6人が素人チームを育てて2年目でインカレ2位になりました。インカレ初優勝したチームは平均身長170cm以下でした。小学生から始めたら大学まで約十年間もあるからよっぽど上手になれるよ」

